

外来生物の駆除評価

県SDGs
アワード 東雲高が優秀賞に

持続可能な開発目標「ワード」の高校部門で、(SDGs)の目標達成 篠山東雲高校が優秀賞に
に向けた先進的な取り組みを行っている県内の学校園を表彰する「ひょうごSDGsスクールアワード」の外来生物を堆肥化し、



表彰状とトロフィーを手に「ひょうごSDGsスクールアワード」での受賞を喜ぶ自然科学部の部員たち＝丹波篠山市福住で

農作物の栽培に生かしている活動が評価された。同アワードは、学校園のSDGsへの関心向上につなげようと、県が今年度に創設。全40校園の応募があり、東雲高は高校部門で、優秀賞3校のうちの1校に選出された。

4年前、「ウシガエル

の鳴き声がうるさくて眠れない」という近隣住民の悩みの声を受け、駆除をスタート。アメリカザリガニやブルーギルなどの生態系を崩す外来生物も含め、春―夏に月1回程度、駆除している。

生物の命が循環する活用方法を研究。捕獲後は堆肥化し、校内で栽培する黒豆の肥料にしている。ウシガエルやザリガニを唐揚げにして実食するなど、食用としての活用も模索している。

部長の「さん
(2年・丹南中出身)は

「活動が報われてうれしかせる。SDGsは、こい」と喜び、「駆除されれからの地球のために、僕たちが取り組むべき」と同じ命がある。堆肥やとだと実感している」と食材にすることで命を生話した。

2023年3月19日

丹波新聞